

**唐津市障がい者活躍推進計画
令和 7 年度の実施状況に関する点検結果**

目標に対する 達成度	1 採用に関する目標
	■ 目標 毎年 6 月 1 日時点の実雇用率について、法定雇用率を上回る。 (令和 7 年 6 月 1 日現在の法定雇用率は 2. 8 %) ■ 結果 令和 7 年 6 月 1 日時点の実雇用率は <u>2. 9 4 %</u>
	2 定着に関する目標
	■ 目標 障がいのある職員の採用後 1 年間の定着率を 1 0 0 % とする。 ■ 結果 常 勤 新規採用 0 名 (1 年定着率 一 %) 非常勤 新規採用 1 名 (1 年定着率 1 0 0 %)
	3 職場等の満足度に関する目標
	■ 目標 職場等の満足度に関するアンケートにおいて「仕事に満足している」と回答した者の割合を、前年度と同等以上の水準とする。 ※計画初年度は実態に関するデータを収集する。 ■ 結果 5 9. 4 % (回答者 3 7 名 うち「満足」と回答した者 2 2 名)
取組内容の 実施状況	1 障害者の活躍を推進する体制整備
	【組織面】 ○ 障害者雇用推進者として人事課長（各機関においては総務担当課長）を選任 ○ 障がい者雇用推進チームを設置（チーム会議：年 1 回開催） ○ 役割分担及び各種相談先については、定期的に更新を行い、相談対応等の体制整備を行った。 【人材面】 ○ 佐賀労働局が開催する障害者職業生活相談員資格認定講習をした職員 2 名を「公務部門向け障害者職業生活相談員」として選任 ○ 「障がい者雇用の理解と対応研修（動画視聴）」を実施し、6 1 名が受講した。

**唐津市障がい者活躍推進計画
令和 7 年度の実施状況に関する点検結果**

2 障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出

- 異動希望調査及びアンケート調査結果を踏まえ、職務の選定を行った。
- 人事評価制度に伴う所属長面談（年 4 回）や所属長に対する人事課長ヒアリングを通じて適切な業務の選定、マッチングに繋がっている。

3 障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理

【職務環境】

- 障がい者雇用率の算定に関する同意書の提出を依頼する際に、合理的配慮に関するアンケートを実施した。
- 障がいを持つ職員を対象とした「職場環境整備に関するアンケート」を実施した。

【募集・採用】

- 面接試験においては、事前に手話通訳や車いす、補聴器等の要否について案内を行うなど障がい特性への配慮を行った。
- 募集・採用に当たり、特定の障がい者に限定せず実施した。
- 将来の一般就労に向け、職場経験を積むことを目的に唐津市障がい者就労支援事業（チャレンジ雇用）において障がい者 2 名を採用した。

【働き方】

- 時差出勤、早出遅出勤務、休憩時間の短縮などの柔軟な時間管理制度の利用を促進した。

4 その他

- 国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律に基づく障害者就労施設等への発注等の令和 7 年度実績額は 6,330,558 円であり、令和 6 年度比で 198,926 円増であった。
- 令和 7 年度は、唐津市役所玄関ロビーにおいて、障害者支援施設障がい者就労支援施設等の主催による「は～とふるマルシェ」が計 12 回開催された。

唐津市障がい者活躍推進計画
令和7年度の実施状況に関する点検結果

「目標に対する達成度」及び「取組内容の実施状況」に対する点検結果	1 目標に対する達成度について
	(1) 採用に関する目標 ○ 正規職員（障がい者枠）0名新規採用 会計年度任用職員 1名新規採用 実雇用率は、法定雇用率（2.8%）を上回っており、採用に関する目標を達成することができた。今後も職員の募集において障がい者枠を設けるなど、法定雇用率の向上を図ることとする。 (2) 定着に関する目標 ○ 令和7年度に新規採用した対象職員1名が1年間定着し、定着率100%を達成できた。今後も定着率の維持向上のため、人事評価等により、採用後の職務遂行状況を定期的に確認し定着につなげることとする。 (3) 職場等の満足度に関する目標 ○ 計画初年度であるため現状把握のみ 同水準を維持するための取組みを継続する。
	2 取組内容の実施状況について
	○ 障害者の活躍を推進するための体制については、組織面、人材面ともに整備しているが、障がいのある職員の希望を確認しながら、職員の能力や特性に合った業務とのマッチングを行うために必要な面談や人事管理等を継続的に実施していく必要がある。